

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-149561
 (43)Date of publication of application : 02.06.1998

(51)Int.Cl. G11B 7/135

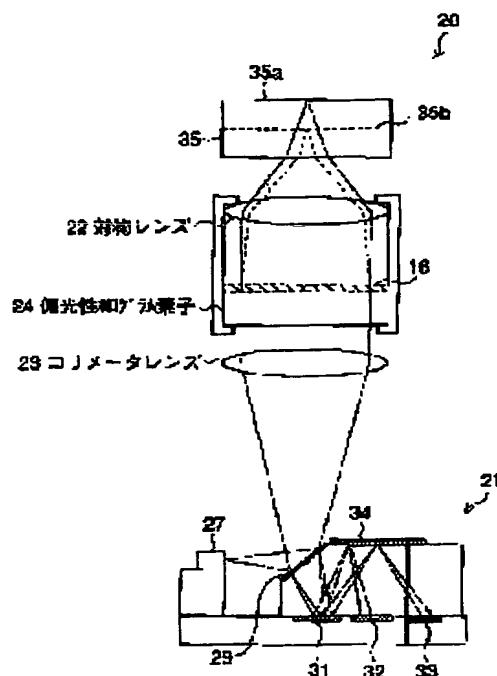
(21)Application number : 08-304824 (71)Applicant : SONY CORP
 (22)Date of filing : 15.11.1996 (72)Inventor : IWASAKI MASANORI

(54) OPTICAL PICKUP AND OPTICAL DISK DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simultaneously reproduce two signal recorded surfaces of a double layer optical disk by simple constitution using an integrated type light receiving/ emitting device.

SOLUTION: This optical pickup is provided with a light convergent means converging laser beam from the light receiving/emitting device 21 on the recorded surface of the optical disk and introducing return light from the recorded surface of the optical disk to the light receiving/emitting device 21, and a polarized light separating means 24 arranged in an optical path between the light receiving/emitting device 21 and the optical disk, acting as a lens for a first light component between light beams from the light receiving/emitting device 21, transmitting a second light component through as it is and respectively converging them on two signal recorded surfaces 35a, 35b of the double layer optical disk 35 through the light convergent means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-149561

(43) 公開日 平成10年(1998)6月2日

(51) Int.Cl.⁶
G 1 1 B 7/135

識別記号

F I
G 1 1 B 7/135

A

審査請求 未請求 請求項の数 3 OL (全 9 頁)

(21) 出願番号

特順平8-304824

(22) 出願日

平成8年(1996)11月15日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(22) 發明者 岩崎 正則

君島 一義
東京都品川区北

東京都道川口
株式会社内

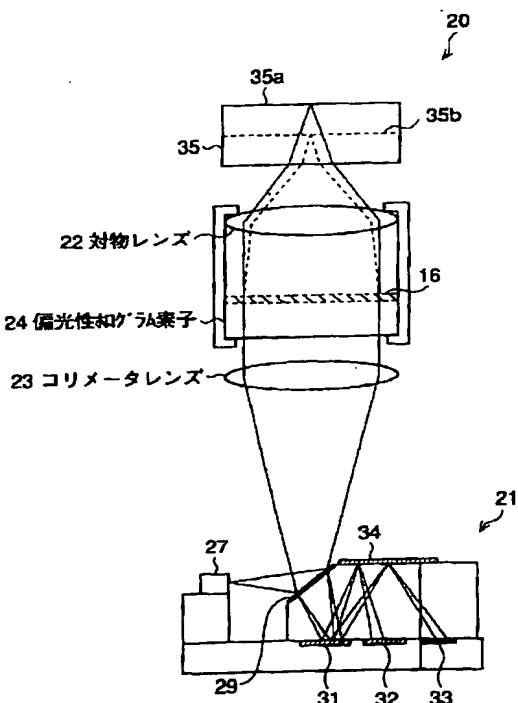
株式会社
代理士 网嶋信太郎 (外1名)

(54) [発明の名称] 光学ピックアップ及び光ディスク装置

(57) 【要約】

〔課題〕 一体型の受発光装置を利用した簡単な構成により、二層式光ディスクの二つの信号記録面を同時に再生できるようにすること。

【解決手段】 受発光装置 21 からのレーザ光を光ディスクの記録面上に集束させると共に、光ディスクの記録面からの戻り光を前記受発光装置に導入する光集束手段 22 と、上記受発光装置と光ディスクとの間の光路中に配設され、受発光装置からの光ビームのうち、第一の光成分に対してレンズとして作用し、第二の光成分に対してそのまま透過させることにより、光集束手段を介して二層式光ディスク 35 の二つの信号記録面 35a, 35b に対してそれぞれ集光させる偏光分離手段 24 とを備える。



(2)

2

れ、光源からの光ビームのうち、第一の光成分に対してレンズとして作用し、第二の光成分に対してそのまま透過させることにより、光集束手段を介して二層式光ディスクの二つの信号記録面に対してそれぞれ集光させる偏光分離手段とを備えており、

前記受発光装置が、

第一の半導体基板上に形成された光検出器と、前記第一の半導体基板上に搭載された第二の半導体基板上に形成された発光素子と、

前記発光素子から出射されたレーザ光が入射する光路分岐面に形成され、このレーザ光を分離する光分離膜と、第一の半導体基板に対向する面に形成された半透過膜を有する、複屈折性材料から成るプリズムとを含んでい

て、

前記光検出器が、前記光路分岐面の光分離膜を透過し、前記プリズム内を通って半透過膜を透過したレーザ光を受光する第一の受光部と、この半透過膜で反射され且つプリズムの反対側の面で反射された、プリズム入射の際に分離された前記第一の光成分、第二の光成分をそれぞれ受光する第二及び第三の受光部を有する構成としたことを特徴とする光ディスク装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、二層式光ディスクに対応して、回転する光ディスクの信号記録面に対して光を照射して、戻り光を検出する、光学ピックアップ及び光ディスク装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、光ディスクを再生するための光学ピックアップは、例えば、図13に示すように構成されている。図13において、光学ピックアップ1は、対物レンズ2と、ベース部(図示せず)上に固定配置された受発光装置3と、光学系4とを含んでいる。

【0003】光学ピックアップ1は、対物レンズ2がフォーカシング方向及びトラッキング方向に移動されることにより、受発光装置3から出射されたレーザ光を光学系4及び対物レンズ2を介して、対物レンズ2の上方で回転駆動される光ディスク5の信号記録面5a上のある一点に集束させ、光ディスク5の信号記録面5aからのレーザ光(戻り光)を対物レンズ2及び光学系4を介して受発光装置3内に入射させる。

【0004】ここで、光学系4は、受発光装置3から出射されたレーザ光を対物レンズ2に導き、また、光ディスク5からの戻り光を対物レンズ2から受発光装置3に導くもので、図示の場合、二つの光路折曲げ用ミラー4a, 4bから構成されている。また、図示しない二軸アクチュエータにより、対物レンズ2がフォーカシング方向及びトラッキング方向に移動調整されることにより、受発光装置3から出射されたレーザ光は、光学系4の光路折曲げ用ミラー4a, 4bそして対物レンズ2を介し

【特許請求の範囲】

【請求項1】受発光装置と、前記受発光装置から出射されたレーザ光を光ディスクの記録面上に集束させて照射するとともに、前記光ディスクの記録面からの戻り光を前記受発光装置に導入する光集束手段と、前記受発光装置と光集束手段との間の光路中に配設され、光源からの光ビームのうち、第一の光成分に対してレンズとして作用し、第二の光成分に対してそのまま透過させることにより、光集束手段を介して二層式光ディスクの二つの信号記録面に対してそれぞれ集光させる偏光分離手段とを備えており、

前記受発光装置が、第一の半導体基板上に形成された光検出器と、前記第一の半導体基板上に搭載された第二の半導体基板上に形成された発光素子と、前記発光素子から出射されたレーザ光が入射する光路分岐面に形成され、このレーザ光を分離する光分離膜と、第一の半導体基板に対向する面に形成された半透過膜を有する、複屈折性材料から成るプリズムとを含んでい

て、前記光検出器が、前記光路分岐面の光分離膜を透過し、前記プリズム内を通って半透過膜を透過したレーザ光を受光する第一の受光部と、この半透過膜で反射され且つプリズムの反対側の面で反射された、プリズム入射の際に分離された前記第一の光成分、第二の光成分をそれぞれ受光する第二及び第三の受光部を有する構成としたことを特徴とする光学ピックアップ。

【請求項2】前記偏光分離手段が、偏光性ホログラム素子であることを特徴とする請求項1に記載の光学ピックアップ。

【請求項3】光ディスクを回転駆動する駆動手段と、回転する光ディスクに対して光集束手段を介して光を照射し、光ディスクからの信号記録面からの戻り光を光集束手段を介して光検出器により検出する光学ピックアップと、光集束手段を二軸方向に移動可能に支持する二軸アクチュエータと、

光検出器からの検出信号に基づいて、再生信号を生成する信号処理回路と、

光検出器からの検出信号に基づいて、光学ピックアップの光集束手段を二軸方向に移動させるサーボ回路と、を含んでおり、

前記光学ピックアップが、受発光装置と、前記受発光装置から出射されたレーザ光を光ディスクの記録面上に集束させて照射するとともに、前記光ディスクの記録面からの戻り光を前記受発光装置に導入する光集束手段と、前記受発光装置と光集束手段との間の光路中に配設さ

30

40

50

50

3
て、光ディスク5の信号記録面に集束するようになって
いる。光ディスク5の信号記録面からの戻り光は、対物
レンズ2及び光学系のミラー4a, 4bを介して、受発
光装置3に入射される。

【0005】上記受発光装置3は、図14に示すよう
に、第一の半導体基板3a上に光出力用の第二の半導体
基板3bが載置され、この第二の半導体基板3b上に發
光素子としての半導体レーザ素子3cが搭載されてい
る。半導体レーザ素子3cの前方の第一の半導体基板3
a上には、台形形状のマイクロプリズム3dが、その半
a上には、台形形状のマイクロプリズム3dが、その半
透過程面としての傾斜面を半導体レーザ素子3c側に対向
させて、設置されている。これにより、半導体レーザ素
子3cから第二の半導体基板3bの表面に沿って出射し
た光ビームは、マイクロプリズム3dの傾斜面にて反射
されて、上方に向かって進み、光学系4のミラー4aに
して、ミラー4aにより反
向かって進むことになる。そして、ミラー4aによ
り反射された光ビームは、さらに光学系4のミラー4bによ
り反射された後、対物レンズ2を介して、光ディスク5
の信号記録面5aに集束される。

【0006】光ディスク5の信号記録面5aからの戻り
光は、再び、対物レンズ2、光学系4のミラー4b、4
aを介して、マイクロプリズム3dの傾斜面から、マイ
クロプリズム3d内に入射し、マイクロプリズム3dの
底面に達する。このマイクロプリズム3dの底面に達し
た戻り光は、一部がこの底面を透過すると共に、一部が
この底面で反射され、マイクロプリズム3dの上面に向
かって進む。

【0007】ここで、マイクロプリズム3dの戻り光入
射位置の下部の第一の半導体基板3a上には、第一の光
射位置の上記底面で反射された戻り光は、マイクロプリズム3dの上面にて反射さ
れて、再びマイクロプリズム3dの底面に入射される。
そして、マイクロプリズム3dの上面で反射された戻り
光の入射されるマイクロプリズム3dの底面部分の下部
の第一の半導体基板3aには、第二の光検出器3fが形
成されている。上記第一の光検出器3e、第二の光検出
器3fは、それぞれ複数のセンサブロックに分割されて
おり、各センサブロックの検出信号がそれぞれ独立して
出力されるようになっている。尚、第二の半導体基板3
b上には、半導体レーザ素子3cの出射側とは反対側
に、第三の光検出器3gが備えられている。この第三の
光検出器3gは、半導体レーザ素子3cの発光強度をモ
ニタするためのものである。

【0008】このように構成された光学ピックアップ1
によれば、受発光装置3の半導体レーザ素子3cから出
射されたレーザ光は、マイクロプリズム3dの傾斜面に
入射し、この傾斜面で、反射される。マイクロプリズム
3dの傾斜面で反射されたレーザ光は、光学系4のミラ
ー4a、4b及び対物レンズ2を介して、光ディスク5
の信号記録面5aの所望のトラック位置のある一点に集

4
束される。光ディスク5からの戻り光は、再び、対物レ
ンズ2、光学系4のミラー4b、4aを介して、受発光
装置3のマイクロプリズム3dの傾斜面に入射し、この
傾斜面を透過することにより、マイクロプリズム3d内
に進む。

【0009】マイクロプリズム3d内に入射した戻り光
は、このマイクロプリズム3dの底面に達する。この底
面に入射した戻り光は、一部が透過すると共に、一部が
マイクロプリズム3dの上面方向に反射される。底面を
通過した戻り光は、第一の光検出器3eに入射され、他
方、底面で反射された戻り光は、マイクロプリズム3d
の上面で反射され、マイクロプリズム3dの底面を通過
して、第二の光検出器3fに入射する。

【0010】このように戻り光が、第一の光検出器3e
及び第二の光検出器3fに入射するので、光検出器3e
及び3fの各センサブロックからの検出信号に基づい
て、再生信号や、例えればいわゆる差動3分割法(D-3
分割法)により、フォーカスエラー信号が検出され、ま
た第一の光検出器3eの各センサ部の検出信号の差に基
づいて、トランシッキングエラーが検出される。

【0011】
【発明が解決しようとする課題】ところで、近年、光ディ
スクは、コンピュータの補助記憶装置、音声・画像情
報のパッケージメディア等として、高密度化が進められ
ており、この高密度化を実現するために、所謂二層式光
ディスクが開発されている。このような二層式光ディス
クは、ディスク基板に対して、所定の間隔で設けられた
二つの信号記録面を備えており、再生の際には、例え
ば図10に示した光学ピックアップ1を使用して、対物レ
ンズ2による集光位置に、光ディスクの二つの信号記
録面を選択的に配置することにより、何れか一方の信号記
録面の情報信号を再生するようしている。

【0012】このため、従来の光学ピックアップ1にお
いては、二層式光ディスクの二つの信号記録面を同時に
再生することはできず、何れか一方の信号記録面を選択
的に再生しなければならないという問題があった。これ
に対して、二層式光ディスクの各信号記録面に対して、
それぞれ専用の光学ピックアップを配設して、双方の信
号記録面を同時に再生することも可能であるが、二組の
光学ピックアップが必要となるため、構造が複雑にな
り、コストが高くなってしまうと共に、光ディスク装置
全体が大型になってしまうという問題があった。

【0013】本発明は、以上の点に鑑み、受発光素子を
利用した簡単な構成により、二層式光ディスクの二つの
信号記録面を同時に再生できるようにした、光学ピック
アップ及び光ディスク装置を提供することを目的として
いる。

【0014】
【課題を解決するための手段】上記目的は、本発明によ
れば、受発光装置と、前記受発光装置から出射されたレ
ンズ50

5

レーザ光を光ディスクの記録面上に集束させて照射するとともに、前記光ディスクの記録面からの戻り光を前記受光部に導入する光集束手段と、前記受光部と光発光部との間の光路中に配設され、光源からの光ビームのうち、第一の光成分に対してレンズとして作用し、第二の光成分に対してそのまま透過されることにより、光集束手段を介して二層式光ディスクの二つの信号記録面に対してそれぞれ集光させる偏光分離手段とを備えており、前記受光部が、第一の半導体基板上に形成された光検出器と、前記第一の半導体基板上に搭載された光検出器と、前記第一の半導体基板上に形成された発光素子と、前記第二の半導体基板上に形成された発光素子から出射されたレーザ光が入射する光路分岐面に形成され、このレーザ光を分離する光分離膜と、第一の半導体基板に対向する面に形成された半透過膜を有する、複屈折性材料から成るプリズムとを含んでいて、前記光検出器が、前記光路分岐面の光分離膜を透過し、前記プリズム内を通って半透過膜を透過したレーザ光を受光する第一の受光部と、この半透過膜で反射され且つプリズムの反対側の面で反射された、プリズム入射の際に分離された前記第一の光成分、第二の光成分をそれぞれ受光する第二及び第三の受光部を有する構成とした、光学ピックアップによって、達成される。

【0015】上記構成によれば、光源と光ディスクとの間に、光源からの光ビームのうち、第一の光成分と第二の光成分を分離する偏光分離手段が配設されていると共に、光分離膜により分離された光路中に、光ディスクの各信号記録面からの戻り光のうち、第一の光成分と第二の光成分を分離する複屈折性材料から成るプリズムが配設されることになる。

【0016】これにより、光源からの光ビームのうち、第一の光成分は、偏光分離手段で分離されて、光ディスクの一方の信号記録面に集束される。そして、この第一の光成分は、この信号記録面で反射された後、戻り光として、光分離膜により分離され、プリズムへの入射の際に、その複屈折性に基づいて、第一の屈折角で屈折する。そして、屈折光のうち、一部が半透過膜を透過して光検出器の第一の受光部に入射すると共に、一部が半透過膜で反射され、さらにプリズムの反対側の面で反射されることにより、第二の受光部に導かれるようになっている。

【0017】これに対して、光源からの光ビームのうち、第二の光成分は、偏光分離手段で分離されて、光ディスクの他方の信号記録面に集束される。そして、この第二の光成分は、この信号記録面で反射された後、戻り光として、光分離膜により分離され、プリズムへの入射の際に、その複屈折性に基づいて、第二の屈折角で屈折する。そして、屈折光のうち、一部が半透過膜を透過して光検出器の第一の受光部に入射すると共に、一部が半透過膜で反射され、さらにプリズムの反対側の面で反射されることにより、第三の受光部に導かれるようになつ

ている。

【0018】これにより、光検出器の第二の受光部の出力信号に基づいて、二層式光ディスクの一方の信号記録面の再生が行なわれると共に、光検出器の第三の受光部の出力信号に基づいて、二層式光ディスクの他方の信号記録面の再生が行なわれる。かくして、二層式光ディスクの各信号記録面の再生が同時に実行されることになる。

【0019】尚、上述の第一の光成分と、第二の光成分は、それぞれ第1の偏光分離手段に入射する常光成分は、第一の光または異常光成分をそれぞれ意味するもので、第一の光成分が常光であれば第二の光成分が異常光で、逆に第一の光成分が異常光であれば第二の光成分が常光である。

【0020】

【実施形態】以下、本発明の好適な実施形態を図1乃至図12を参照しながら、詳細に説明する。尚、以下に述べる実施形態は、本発明の好適な具体例であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において、特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

【0021】図1は、本発明による光学ピックアップを組み込んだ光ディスク装置の一実施形態を示している。図1において、光ディスク装置10は、光ディスク11を回転駆動する駆動手段としてのスピンドルモータ12、回転する光ディスク11の信号記録面に対して光ビームを照射して信号を記録し、この信号記録面からの戻り光ビームにより記録信号を再生する光学ピックアップ20及びこれらを制御する制御部13を備えている。ここで、制御部13は、光ディスクドライブコントローラ14、信号復調器15、誤り訂正回路16、インターフェイス17、ヘッドアクセス制御部18及びサーボ回路19を備えている。

【0022】光ディスクドライブコントローラ14は、スピンドルモータ12を所定の回転数で駆動制御する。信号復調器15は、光学ピックアップ20からの記録信号を復調して誤り訂正回路16に送出する。誤り訂正回路16は、信号復調器15からの記録信号を誤り訂正し、インターフェイス17を介して外部コンピュータ等に送出する。これにより、外部コンピュータ等は、光ディスク11に記録された信号を再生信号として受け取ることができるようになっている。尚、光ディスク装置10が例えばオーディオ用として構成されている場合には、インターフェイス17の代わりに、D/A変換器によりデジタル/アナログ変換されることにより、オーディオ信号を生成して、アンプ等に出力するようになっている。

【0023】ヘッドアクセス制御部18は、光学ピックアップ20を例えれば光ディスク11上の所定の記録トラックまでトラックジャンプ等により移動させる。サーボ回路19は、この移動された所定位ににおいて、光学ビ

7
シクアップ13の2軸アクチュエータに保持されている対物レンズをフォーカシング方向及びトラッキング方向に移動させる。

【0024】図2は、上述した光ディスク装置に組み込まれた、本発明による光学ピックアップの一実施形態を示している。図2において、光学ピックアップ20は、受発光装置21と、この受発光装置21から出射されるレーザ光を図示しないスピンドルモータにより回転駆動される光ディスクの信号記録面に集束させる光集束手段としての対物レンズ22と、受発光装置21から出射されたレーザ光を平行光に変換して対物レンズ22に導くコリメータレンズ23と、さらにコリメータレンズ23と対物レンズ22の間に配設された偏光分離手段としての偏光性ホログラム素子24と、を有している。

【0025】光学ピックアップ20は、受発光装置21から出射されたレーザ光をコリメータレンズ23、偏光から出射されたレーザ光をコリメータレンズ23、偏光性ホログラム素子24を介して対物レンズ22に導き、対物レンズ22により光ディスクの信号記録面に集束させ、光ディスクの信号記録面で反射されたレーザ光は、対物レンズ22、偏光性ホログラム素子24、コリメータレンズ23を介して、受発光装置21に入力される。

【0026】ここで、上記受発光装置21は、図3及び図4に示すように、発光素子及び受光素子を一体の光学ブロックとして、半導体パッケージに封入されたものである。すなわち、受発光装置21は、第一の半導体基板25上に光出力用の第二の半導体基板26が載置され、この第二の半導体基板26上にレーザダイオードチップ27が搭載されている。

【0027】レーザダイオードチップ27の前方の第一の半導体基板25上には、レーザダイオードチップ27側に略45度の斜面として形成された光路分岐面28aを有するプリズム28が設置されており、この光路分岐面28aには、光分離膜29が形成されている。

【0028】上記光分離膜29は、レーザダイオードチップ27からのレーザ光ビームと光ディスクの信号記録面からの戻り光を分離する。即ち、レーザダイオードチップ27からの光ビームは、光分離膜29で反射され、戻り光は、光分離膜29を透過する。

【0029】プリズム28は、例えば一軸性結晶であるニオブ酸リチウムLN(LiNbO₃)等の複屈折性材料から構成されており、図示の場合、上面及び下面が互いに平行に形成されている。これにより、光ディスクに沿って形成された戻り光ビームは、第一の光成分(例えば常光線)と第二の光成分(例えば異常光線)を含んでおり、プリズム28の光路分岐面28aから光分離膜29を透過してプリズム28内に入射する際に、プリズム28の複屈折性材料の性質に基づいて、各光成分は、異なる屈折角で屈折することになる。そして、戻り光ビームの各光成分は、それぞれプリズム28の下面に達する。こ

のプリズム28の光が入射する下面領域には、半透過膜30が形成されていると共に、その下方の第一の半導体基板25の上面部には、第一の光検出器31が形成されている。

【0030】また、この半透過膜30により反射され、さらにプリズム28の上面で反射された戻り光の各光成分が、再びプリズム28の底面に達する領域には、レーザ光の透過率を促進するために、好ましくは、反射防止膜または偏光分離膜(図示せず)が形成されていると共に、その下方の第一の半導体基板25の上面部には、後述するように構成された第二及び第三の光検出器32、33が形成されている。尚、プリズム28の上面には、半透過膜30により反射された光ビームの反射率を高めるために、全反射膜34が形成されている。

【0031】コリメータレンズ23は、凸レンズであつて、光分離膜29で反射された光ビームを、平行光ビームに変換する。

【0032】また、上記対物レンズ22は、凸レンズであつて、図2に示すように、コリメータレンズ23からの平行光ビームを、回転駆動される二層式光ディスク35の平行光ビームを、回転駆動される二層式光ディスク35の第一の信号記録面35aの所望のトラック上に集束させるように構成されている。さらに、対物レンズ25は、図示しない二軸アクチュエータによって、二軸方向、即ちトラッキング方向及びフォーカシング方向に移動可能に支持されている。

【0033】上記偏光性ホログラム素子24は、例えればニオブ酸リチウム等の一軸性結晶から成る基板の一面に、安息香酸による格子状のプロトン交換層24aを形成することにより、所謂一軸性複屈折素子として構成されている。ここで、上記プロトン交換層24aの格子パターンは、光軸を中心とする同心円状に形成されるようになっている。これにより、偏光性ホログラム素子24は、プロトン交換層の領域にて、常光線に対する屈折率が、0.13程度増大し、また異常光線に対する屈折率が、0.04程度減少することになるが、上記位相補償膜の膜厚が適宜に選定されることによって、常光成分をそのまま透過させ、且つ異常光成分を屈折させ、対物レンズ22を介して、二層式光ディスク35の第二の信号記録面35bに集光させるように、構成されている。

【0034】ここで、各光検出器31、32、33は、実質的に発光点であるレーザダイオードチップ27と共に位置(即ち、図示の場合、プリズム28の上面で反射される位置)の前後に配設されている。この場合、プリズム28が複屈折性材料から構成されていることから、前述したように、光ビームがプリズム28内に入射すると、入射光は常光及び異常光の二つの光線に分離されることになるので、プリズム28の上面で反射された二つのレーザ光は、それぞれプリズム28の下面に達する。従って、これら二つの光線をそれぞれ受光するよう、第二及び第三の光検出器32、33が配設されてい

11

向を有しており、プリズム28への入射の際に、プリズム28の複屈折性に基づいて、第二の屈折角で屈折した後、半透過膜30に入射して、一部が、この半透過膜30を透過して、第一の光検出器31に入射すると共に、一部が、この半透過膜30で反射され、さらにプリズム28の上面で反射されて、プリズム28の下面を透過して、第三の光検出器33に入射する。ここで、第二の光検出器32に入射する光ビームは、図11に示す偏光方向を有している。尚、上記戻り光L1、L2の偏光方向に対して、プリズム28の光学軸は、紙面に垂直な入射光軸に対して、図12に示すように配設されている。

【0042】かくして、各光検出器31、32、33の各受光部31a、31b、31c、32a、32b、32c、33a、33b、33cからの検出信号に基づいて、これらの検出信号がアンプにより増幅され、更に演算回路によってそれぞれ加減算処理が行われて、前述の再生信号RF1、RF2とフォーカスエラー信号FE及びトラッキングエラー信号TE1、TE2が得られる。

【0043】このように、本実施形態の光学ピックアップによれば、プリズム28が複屈折性材料から形成されると共に、受発光装置21と対物レンズ22とされ、これらは、偏光性ホログラム素子24が配設されている。このことにより、受発光装置21からのレーザ光が、この偏光性ホログラム素子24により、第一の光成分例えれば常光線と第二の光成分例えれば異常光線とに分離され、各光成分が、それぞれ二層式光ディスク35の各信号記録面35a、35bに集束される。そして、各信号記録面35a、35bからの戻り光は、プリズム28の複屈折性に基づいて、各光成分が異なる屈折角で屈折されることにより、互いに分離され、それぞれ対応する光検出器の受光部によって検出されるようになっている。かくして、二層式光ディスク30の各信号記録面30a、30bの再生が同時に行われる。

【0044】尚、上記実施形態においては、偏光性ホログラム素子24は、コリメータレンズ23と対物レンズ22との間に配設されているが、これに限らず、光源である受発光装置21と光ディスク35との間の光路中に配設されればよい。

【0045】また、上記実施形態においては、単に二層式光ディスクとして説明しているが、光磁気ディスクを除く種々の光ディスクに関して、二層式の構成の光ディスクを再生する場合に、本発明を適用することも可能である。

【0046】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、二層式の受発光装置を利用した簡単な構成により、二層式光ディスクの二つの信号記録面を同時に再生できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による光学ピックアップの一実施形態を組み込んだ光ディスク装置の構成を示すブロック図である。

【図2】図1の光ディスク装置に組み込まれた光学ピックアップの構成を示す概略側面図である。

【図3】図2の光学ピックアップにおける受発光装置の拡大断面図である。

【図4】図2の光学ピックアップにおける受発光装置の拡大平面図である。

【図5】図3の受発光装置における光検出器の構成を示す拡大平面図である。

【図6】図2の光学ピックアップにおける偏光性ホログラム素子の光学軸と入射光の偏光方向を示す図である。

【図7】図2の光学ピックアップにおける偏光性ホログラム素子を出射する常光線の偏光方向を示す図である。

【図8】図2の光学ピックアップにおける偏光性ホログラム素子を出射する異常光線の偏光方向を示す図である。

【図9】図2の光学ピックアップにおけるプリズムへの入射光の偏光方向を示す図である。

【図10】図2の光学ピックアップにおけるプリズムを出射する常光線の偏光方向を示す図である。

【図11】図2の光学ピックアップにおけるプリズムを出射する異常光線の偏光方向を示す図である。

【図12】図2の光学ピックアップにおけるプリズムの光学軸を示す図である。

【図13】従来の光ディスクの光学ピックアップの構成を示す概略図である。

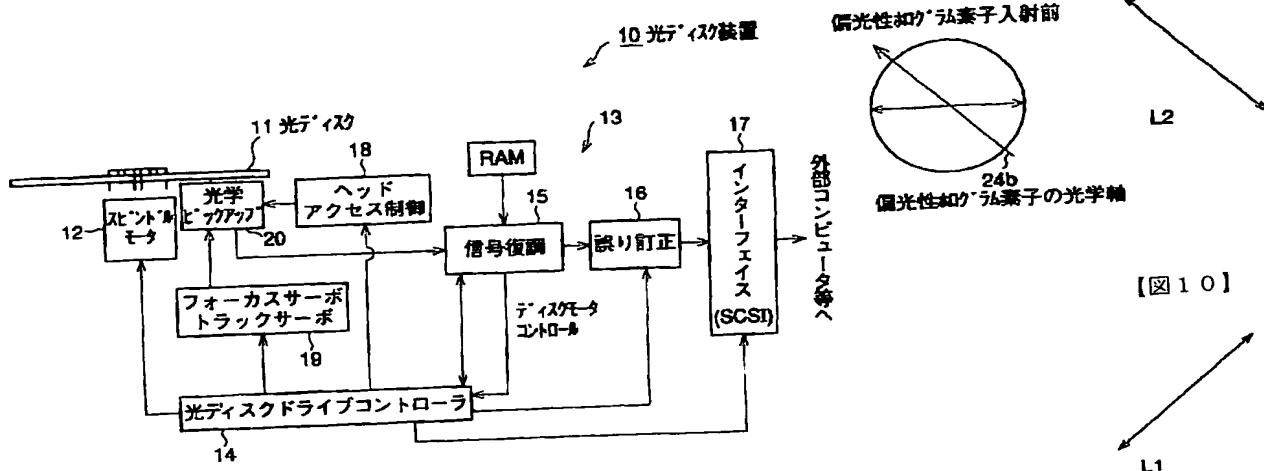
【図14】図13の光学ピックアップにおける受発光装置を示す概略断面図である。

【符号の説明】

10…光ディスク装置、11…光ディスク、12…スピンドルモータ、13…制御部、14…光ディスクトライプコントローラ、15…信号復調器、16…誤り訂正回路、17…インターフェイス、18…ヘッドアクセス制御部、20…光学ピックアップ、21…受発光装置、22…対物レンズ、23…コリメータレンズ、24…偏光性ホログラム素子、25…第一の半導体基板、26…第二の半導体基板、27…レーザダイオードチップ、28…プリズム、28a…光路分岐面、29…光分離膜、30…半透過膜、31…第一の光検出器、32…第二の光検出器、33…第三の光検出器、34…全反射膜、35…二層式光ディスク、35a、35b…信号記録面。

(8)

【図1】



【図6】

偏光性レーザー光子入射前

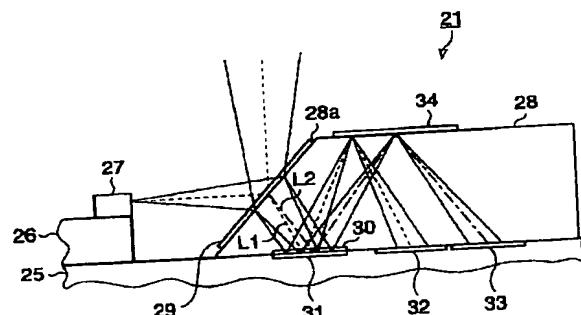


【図11】

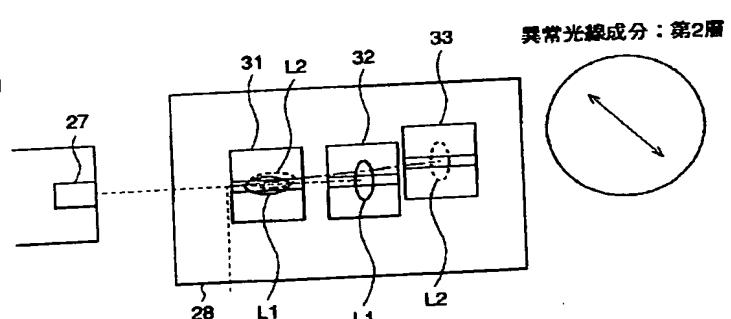
【図10】

【図1】

【図3】

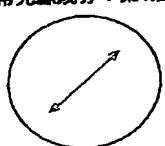


【図4】

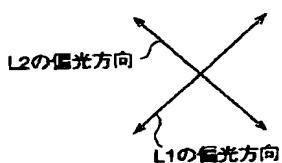


【図7】

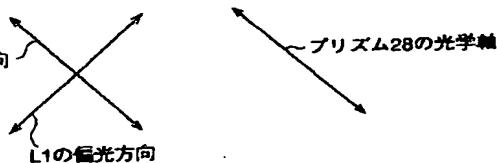
常光線成分：第1層



【図9】



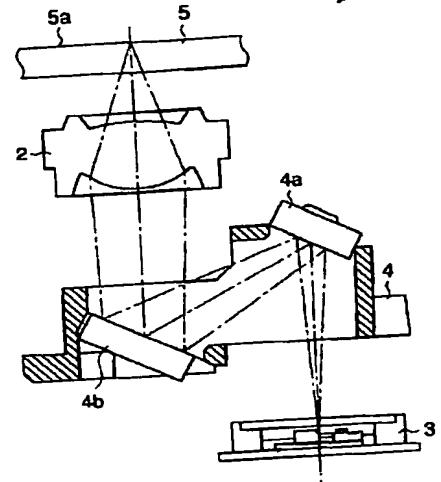
【図12】



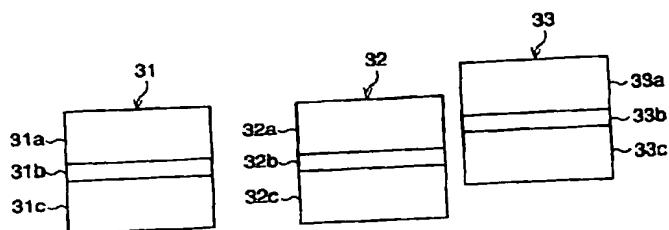
(9)

【図13】

1



【図5】



【図14】

